

— 令和6年度決算 — 家庭ごみ処理手数料 相当額編

各事業の詳細やこれまでの状況などは、市ホームページをご覧ください。

TEL 1048913

問 環境都市推進課(888)5706



次の世代の負担を減らし、
私たちの美しい環境を未来に引き継ぐため、
今後もご協力をお願いします

市では、ごみ減量のため、市民のみなさんに家庭ごみ処理手数料を負担していただき、全額を家庭ごみ処理に必要な経費に充てています。この手数料と同額の「手数料相当額」は、条例で使い道が定められ、ごみ減量やさまざまな環境対策に活用することになっています。

手数料相当額のイメージ



■令和6年度の1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(資源化物・水銀含有ごみを除く)は476gでした

■手数料相当額の約半額を毎年積み立てている(右表①)一般廃棄物処理施設整備基金から、令和6年度は8,072万円を取り崩し、溶融施設大規模改修事業などの事業費の一部に充当しました

■家庭ごみ処理手数料収入(歳入)	4億1,802万8千円
■手数料相当額を活用した事業など(歳出)	4億1,802万8千円

歳出の内訳(①+②+③)

①一般廃棄物処理施設整備基金積立	2億901万4千円
②家庭ごみ減量などの対策事業	1億1,095万1千円
ごみ集積所の設置や修繕などに対する町内会への補助	702万3千円
生ごみ処理機などの購入費補助、食品ロス削減の取り組み	549万4千円
資源化物の集団回収を行う町内会などへの奨励金	1,140万7千円
資源化物の祝日収集	977万1千円
家庭から排出される古紙類回収の促進・支援	4,902万1千円
ごみ減量説明会・キャンペーンなどによる情報発信	500万8千円
ごみ集積所のパトロールや現場調査・指導	277万8千円
不法投棄防止のパトロールなどの対策	451万円
粗大ごみオンライン申し込み経費	90万4千円
家庭ごみ処理手数料収納管理、徴収事務委託やシステムに係る経費	1,503万5千円
③その他の環境対策事業	9,806万3千円

地球温暖化対策事業

太陽光発電システムや木質バイオマスストーブなどの導入費用補助	1,602万9千円
再生可能エネルギー施設の見学体制の整備と情報発信	119万8千円
エネルギー使用状況の分析による市有施設の効率的運用	395万4千円
市有4施設での省エネ設備導入による光熱費削減	831万6千円
スマートアプリ「あきエコどんどんプロジェクト」のシステム運用	530万8千円
温室効果ガス排出量現況推計による地球温暖化対策の推進	79万2千円
溶融施設の燃料の一部としてバイオマスチップを使用	1,922万1千円
中小企業などの省エネを促進する設備投資を支援	2,977万3千円

生活環境の保全に寄与する事業

微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析業務委託	869万円
水銀含有ごみの収集運搬・処分に必要な経費	478万2千円